

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

今後の生涯学習の振興方策について その1 (公民館関連抜粋)

4.5

- 2 **トピックス** (社)全国公民館連合会(第46回)通常総会開催される
- 3 **視点** 新生上越市が育てていくものは?
- 3 **ひろば** 心象風景
- 6 **実践記録シリーズ** ☆災害時における公民館の現状
- 7 **サークル交流** 車椅子レクダンス 矢車草の会(十日町市) / 歴史民俗同好会(川口町)
- 7 **素顔拝見** 渡辺 茂さん(長岡市) / 大倉 崇さん(巻町)



聖籠町 「地域子ども教室」

表紙解説 地域子ども教室 シャボン玉サタデーの一コマ

(社)全国公民館連合会(第四十六回) 通常総会開催される

平成17年から国庫補助金が全面カット 今後、安定化・継続化した財源確保の必要性

去る六月八日(水)第四十六回全公連通常総会が、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、当県公連からは、正会員として三保会長が、オブザーバーとして鈴木事務局長が出席した。

開会のあいさつでは、松下



松下会長あいさつ

誠会長から、今日の公民館を取り巻く厳しい状況について、五点指摘された。

・一つは、市町村合併による公民館の位置付けやあり方の変更が増える傾向にあること
・二つめは、指定管理者制度の導入の道が開かれ、社会教育施設も例外ではなくなったこと

・三つめは、地方財政の逼迫から、公民館の管理運営や活動に要する財源確保が困難になってきたこと

・四つめは、地域住民や利用者への価値観、学習への関心、さらには公民館への要望等が多岐にわたり、公民館の管理運営や活動の大幅な変容を迫られていること

・五つめは、子どもたちの問題行動の抑止や社会規範の確立等、さらには人々の連帯感

や公共意識の希薄化、道徳・倫理観等の涵養が課題とされ、学社連携・融合による教育が従来以上に求められていること

従って、それぞれの公民館の果たす役割は重要になっており、また、全公連もその使命を果たすべく各都道府県公連と密接な連携を図って対応していきたい、と話された。

来賓の文部科学省社会教育課三浦春政課長からは、祝辞と併せ、文部科学行政を取り巻く環境について、約四十分 にわたり話されたが、中心となる「今後の生涯学習の振興方策」については、本号4頁5面に特集してあるので、参照されたい。

このあと議事の審議に入り
・議案第1号 平成16年度事業報告及び決算の承認について

全国公民館振興市町村長連盟 平成17年度理事・代議員会(総会)開催

日時

平成17年6月24日(金)
午前11時～午後3時まで
(鈴木事務局長、オブザーバー出席)



場所

全国公民館連合会事務局会議室
東京都港区虎ノ門1丁目16-2 虎ノ門東館ビル3F
●電話 03-3539-1005 ●FAX 03-3501-3481

議事

- 第1号議案 平成16年度事業報告並びに収支決算について
- 第2号議案 平成17年度事業計画並びに予算について(案)
- 第3号議案 役員改選について
- 第4号議案 その他

て「監査報告も」
・議案第2号 平成17年度事業計画(案)及び予算(案)について

平成17年度から国庫補助金が全面カットされ、大変厳しい状況の中ではあるが、今後安定化、継続化した財源確保が必要であり、公民館総合補償制度の普及と加入拡大を図るべく鋭意努力したい、との説明がなされた。

・議案第3号 任期満了に伴う役員改選について

・議案第4号 第28回全国公民館研究集会(神戸市)及び第29回全国公民館研究集会の開催会場地(仙台市)について提案され、

すべての議案が異議なく承認された。

なお、全公連役員名簿については、次号8月号で掲載する予定である。

視点

新生上越市が育んでいくものは？

上越市社会教育委員 水上千恵子



平成の大合併が続く中、平成十七年一月一日、日本一の十四市町村が合併して、新生上越市が誕生しました。長い歴史を持つ、一市十三町村が一つになることで、そこに住む人達も様々な思いを胸に一つになろうとしています。互いの町村を知り、人と人が交流し、人と地域がつながり、一体感が造られると思います。そして、各々住む町村の歴史や伝統の良さを忘れずに大切にすることが、これからの新しい上越を育んで行くことにつながると思います。

私達、社会教育委員も二十五年で平成十七年度の活動を始めようとしています。二十一世紀を担う子ども達の健やかな育成をめざして、地域ぐるみで協力して行こう！地域の子どもは地域で育てよう！地域連携が叫ばれる中、私達は何をして行ったら良いのでしょうか。自分がしたいことを自分で考え選択できる子どもでいてほしい。私達一人ひとりの小さな意識が積み重なり協力し合ってこそ、新生上越を担う子ども達を育むことにつながると考えています。

HOT NEWS 掲示板

平成17年度 中越地区公民館特別研修会開催される



テーマ「地域コミュニティの再生・活性化と公民館活動」

参加数 208名

開会式

開会挨拶 中越地区公民館連絡協議会会長 吉岡 潤一
 祝辞 中越教育事務所社会教育課課長 小林 民弥 様
 新潟県公民館連合会会長 三保恵美子 様

講演

演題 「コミュニティづくりは防災・危機管理から」
 講師 防災・危機管理アドバイザー
 防災システム研究所 所長 山村 武彦 様

実践発表

発表内容 「災害時における公民館の現状」
 ① 三条市中央公民館 (本堂) 副参事 安田 恵子 様
 ② 長岡市公民館(アトリエ) 館長 関 栄吉 様
 ③ 小千谷市公民館(総合分館 雲深) 館長 友野 正人 様
 ④ 川口町公民館 (震災) 館長 星 元 様

閉会式

閉会挨拶 中越地区公民館連絡協議会副会長 広井 一

ひろば

心象風景

関川村社会教育委員 勝間 修二

連休に帰省した娘が、老人ホームに入所中の婆ちゃんに会いに行った。残念ながら痴呆が進み久しぶりの姪を識別できなかった。一計を案じた娘は百円で「朧月夜」の歌をささやいた。♪菜の花畑に

入り日薄れ♪ 婆ちゃんの目に力が宿った。
 「観音様のような顔をして一緒に歌ってくれたよ。」と嬉し気に私に話してくれた。卒寿を超えた老人の胸にどんな心象風景が浮かんだのだろうか。

勤務する中学校は新学期。

♪春のうららの隅田川♪ 音楽授業帰りの廊下から女生徒の澄んだ歌声が流れてくる。春の学び舎にはこの

歌がよく似合う。私自身の(おそらくは大多数の日本人の)懐しい心象風景である。

現職校長として、多感な中学生に、音楽で、言葉で、心と心、情感豊かな心象風景の種をたくさん蒔いて植付かせたいものだと考えている。

目下、「和顔愛語」を胆に、「おはよう」「元気か」「さようなら」……挨拶三昧の毎日が楽しい。生徒たちの爽やかな返答が実に嬉しい。



方策について(公民館関連抜粋)

その1

て、親が親として育ち、力をつけるような学習を大幅に充実するための方策を検討することが必要である。

(3)地域の教育力の向上

子どもが「生きる力」をはぐくむためには、学校、家庭、地域が相互に連携しつつ、家庭や地域社会における教育力を充実させ、社会全体で子どもを育てていくことが重要である。このため、異年齢の子どもや異世代の地域の人々とのかかわりの中で、様々な体験の機会を提供し、子どもの自主性・創造性・社会性を涵養するとともに、触れる・体験するといった感覚を通して情操を養うなど、地域の大人の力を結集して子どもを育てる環境を整備することが求められる。

(4)健康対策等高齢者への対応

元気な高齢者づくりのためには、様々な生活の場や企業の中で気軽に体を動かすことから始め、地域全体が健やかな意思と健康な体を持つための取組が求められる。

また、高齢化する地域社会を活性化していくためには、高齢者の学習活動について、生きがいづくりとともに、能力開発関係のものなども含めて、高齢者の多様な学習ニーズにこたえとともに、学習成果を活用できる機会を充実していくことが求められる。

(5)地域課題の解決

各地域において、まちづくりや地域の文化の継承・創造、自然環境の保全、地域に根ざした経済活動の活性化の促進、介護・福祉、男女共同参画等の現代の切実な地域の課題に適切に対応していくことにより、個性豊かな活力ある地域社会を築いていく必要がある。

なお、これらの重点的に取り組むべき分野に関して、関係機関・団体等の今後の方策について出された意見は別添1のとおりである。

別添1

関係機関・団体等の
重点的に取り組むべき分野に関する意見

1. 職業能力の向上

(1)学校 (以下説明略)

(2)都道府県、市町村、公民館、青少年教育施設、女性教育センター等

- 若者や中高年層の職業能力の向上の課題への対応に重点化を図り、職業能力の向上に係る学習機会を積極的に拡充していくことが必要である。このため、大学や専門学校、職業訓練施設等との連携を強化し、これらの機関の専門的技術や職業に関する知識等を活用することが必要である。しかし、町村では大学・専門学校等が存在しない所もあるため、ITを活用した遠隔型の学習機会の提供の充実が特に必要になると考えられる。(以下中略)
- 子どもや若者、働き盛りの世代の学習や活動の拠点となるよう、講座内容や施設の改善、開館時間の延長等を図ることが必要である。

2. 家庭教育への支援

(2)市町村、公民館、青少年教育施設、女性教育

センター等

- 家庭教育に関する講座の開設など親への学習機会の提供を充実することが必要である。また、子どもを持つ親同士、あるいは子どもを持つ親と地域の子育て経験者が交流する場となる「子育てサロン」等での学習、青少年教育施設における親子での宿泊体験活動などを充実するなど、家庭教育への支援の大幅な強化を図ることが必要である。
- ・・・また、公民館や女性教育センター等が、子育て中の親同士の交流の輪である「子育てサークル」や、親同士の、より地域的な広がりを持つ輪である「子育てネットワーク」などの拠点として活用されることが必要である。

3. 地域の教育力の向上

(1)学校

- 地域の身近な施設である公民館、図書館、博物館等の社会教育施設などとの連携を強化し、学校の教育活動と地域の活動の効果的な連携を図ることが必要である。

(2)市町村、公民館・青少年教育施設等の社会教育施設

- 青少年の体験活動等の充実を図ることが重要であり、成人が体験活動等の指導者になるための学習機会の拡充が望まれる。
- 文部科学省が都道府県や市町村において整備を推進している「体験活動ボランティア活動支援センター」との連携を図ることも重要である。

4. 健康対策等高齢者への対応

(1)市町村、公民館等

- 高齢者の新たな能力開発のための学習プログラムをつくることが求められる。また、高齢化する地域社会を活性化していくため、健康な高齢者の地域社会への参画を促進し、高齢者の多様なニーズにこたえとともに、学習成果の活用できる機会を充実していくことが求められる。
- 現代の若者が伝統的な生活文化、伝統文化を継承する機会に恵まれていないという現状を踏まえ、高齢者が身につけている生活文化や伝統文化などの知識や技術を継承するための指導の仕方などを学び、よい伝達者になるための学習が重要である。このため、高齢者の知識や経験の継承のための学習プログラムを考えていくことが望まれる。

5. 地域課題の解決

(2)市町村、公民館等

- まちづくり等の地域課題の解決のための学習機会の充実を図ることなど、地域コミュニティ全体に資するサービスの提供を充実させることが必要である。
- 地域課題の解決のためには、個性と活力ある地域づくりを担う人材を育成・確保していくことが求められている。このためには、より多くの地域住民が参加・参画できるような仕組みが必要であり、市町村は社会教育関係団体やNPO、ボランティア、民間企業等と協働し、地域住民とのネットワークの形成を促進することが重要である。

特集

今後の生涯学習の振興

—文部科学省社会教育課長講話資料から—

審議経過の報告

平成16年3月29日

中央教育審議会生涯学習分科会

I これまでの生涯学習振興施策の経緯と課題

2. 生涯学習振興施策の課題

これまでの取組を踏まえつつ、今後、生涯学習振興施策を進めるに当たって、次のような課題について意見等があったところである。

生涯学習を担当する行政や公民館・図書館・博物館等の社会教育施設等の関係機関の取組が、現在の社会の要請に必ずしも適合していない面がある。

学習機会の提供や、学校、公民館・図書館・博物館等の社会教育施設、民間教育事業者、社会教育関係団体、NPO等（以下「関係機関・団体等」という。）の間の連携、学習成果の評価・活用についても、今後の課題として指摘されている。

II 今後の生涯学習振興方策の基本的方向

1. 生涯学習を振興していく上での基本的考え

我々は、「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような「生涯学習社会」の実現を目指すということを共通認識とし、生涯学習が、学校教育、家庭教育、社会教育など人の生涯を通じた幅広い学習機会の場で行われるものであることを確認した。

そのような生涯学習社会は、①教育・学習に対する個人の需要と社会の要請のバランスを保ち、②人間的価値の追求と職業的知識・技術の習得の調和を図りながら、③これまでの優れた知識、技術や知恵を継承して、それを生かした新たな創造により、絶えざる発展を目指す社会である。

2. 生涯学習を振興していく上で今後重視すべき観点

上述の3つの基本的考え方に基づき、現在の状況を勘案すると、本分科会では、今後、生涯学習を振興する上で特に重視すべき観点として、次の5つの観点を取り上げることとした。これら5つの観点は、3つの基本的考え方のいずれとも深いかわりをもっている。

- (1) 国民全体の人間力の向上
・・・（以下説明略）
- (2) 生涯学習における新しい「公共」の視点の重視
（以下説明略）
- (3) 人の成長段階ごとの政策の重点化（以下説明略）
- (4) 国民一人ひとりの学習ニーズを生かした、広い視野に立った多様な学習の展開等

特定の世代の人だけではなく、若者を含むあらゆる層の学習者の多様なニーズ（需要）に対応し、人間的価値の追求と職業的な知識・技術の習得の実現に資するようにすることが必要である。特に、働き盛りの世代、中でも、職業生活、地域生活等の様々な活動と家庭生活との両立等の課題を持つ人々に対応することが重要である。このため、誰でも、いつでも、どこでも学べるように、大学や公民館、図書館等の改善を図ることが必要である。また、国民一人ひと

りの学習ニーズを生かした、個人が利用しやすく、学習意欲が高まるような学習機会を提供等を図っていくことが必要である。

市町村等において、あらゆる資源の把握と有効活用を図ることが必要である。学習の資源としては、学校、公民館、図書館、博物館、生涯学習推進センター、青少年教育施設、文化施設、スポーツ施設等の教育施設のみならず、児童館等の福祉施設、さらには、商店街や神社・寺院、公園などの地域にある身近なものや、山林、河川などの自然なども活用することができる。

また、地域の様々な学習情報や、高齢者や大学生、保護司、PTA、青少年関係団体、スポーツ指導者などの地域の人材を把握し、積極的に発掘することにより、学習者に提供することが重要である。

(5) ITの活用

② 学習資源の創造・蓄積・共有・循環

各地域には、学びの対象となる特色ある地域の「知識財」が豊富に存在している。これらを把握した上で発掘し、学習資源として広く共有していくためには、都道府県や市町村における生涯学習推進センター等において、歴史的背景や学術的価値に関する情報、関連する生涯学習の講座の情報等を付加した上で、体系的な収集・蓄積を推進していくことが重要である。

また、各地域や個人が自ら創り上げ、自ら探した学習資源を発信することや、これらの学習資源を利用した学習者が更に自らの学習成果を付け加えていくことにより、創造、発信、蓄積、共有の循環が生まれ、より深みのある学習資源が形成されることが期待される。そこで、こうした循環を促進するための方策について、著作権に関する事項も含め検討することが重要である。

III 近年の社会の変化と今後の重点分野

これまで生涯学習の振興方策一般について議論してきたが、次に、生涯学習の振興について重点的に取り組むべき分野について議論した。

1. 従来の重点分野（以下説明略）
2. 近年の社会の変化（以下説明略）
3. 今後の重点分野

上記の5つの観点と近年の社会の変化を踏まえ、我々は、今後、特に、重点的に取り組むべき分野として議論した中では、次の5点を重要と考えた。

- 職業能力の向上
- 家庭教育への支援
- 地域の教育力の向上
- 健康対策等高齢者への対応
- 地域課題の解決

(1) 職業能力の向上（以下説明略）

(2) 家庭教育への支援

家庭の教育力の向上を図るためには、学校や地域において、できるだけ早い段階から、親になるための学習の充実を図るとともに、親になった後も、広く子どもから学び、仲間同士の親とも学び合うことなどにより、地域全体で学び合っ

実践記録 シリーズ 88

☆災害時における公民館の現状

北魚沼郡川口町公民館長 星 元



川口町公民館 天井ボード落下

1 災害時における川口町の状況

・人口	5,639人	・世帯数	1,576世帯
・死者	5人	・重軽傷者	62人
・全半壊	1,084棟	・一部損壊	308棟

(1) 震度7の激震

- ・山は崩れ大地は裂けた
- ・全戸に避難勧告
- ・ライフラインもストップ
- ・更に地震被害に追い打ちをかける19年ぶりの大雪に見舞われ、積雪による倒壊等、住民は二重の災害で四苦八苦の状態でした。

(2) 公民館関係の被害

- ・町役場 ・生涯学習センター (公民館)
- ・文化会館 ・学校 ・競技場等
(被災者の避難所、仮設テント、仮設住宅地として使用) 整理して転・活用
- ・40日間避難所

2 災害による公民館活動の状況

- ・公民館活動の施設、設備が破壊破損され参加住民のほとんどが被災者であり、避難民の状態です。計画された学習や行事もストップの状態である。
- ・災害苦難な生活の中に希望の光と触れ合いを求めて公民館職員も地区民と協力し「がんばろう・かわぐち」を合言葉に「雪上火ほたる祭り」等のイベントを開催し地区民に喜ばれた。
- ・雪消えを待ちきれず幾組かの女性のサークル(合唱、舞踊等)が触れ合いを求め活動を開始している。
- ・各地区館も会合を開き活動計画を検討している。
- ・公民館も夏の祭礼の行事、震災復興祈念イベント等の企画を検討し「地震に負けるな」を合言葉に川口の復興を目指し努力する計画である。職員は
- ・物資の使分け、トイレ清掃

- ・給食サービス
- ・国が何をしてくれるかを問うのではなく、私たちとして何かをしようではないか。

3 災害に際し全国各地からの支援物資、自衛隊、ボランティア等、支援者による援助の有り難さ感謝致したい。

(25,000人以上の支援者)

4 活動の経緯

- ・地区館員の70%が全半壊の不自由な生活状態の中で、率先して奉仕支援活動を行っている。「和」を大切にすること、「協力」すること、「我慢」することの大切さを学ぶことができた、と話している。
- ・避難生活で消極的になりがちな住民に、活力と希望を持たせたいと地区の役員と協力し、伝統的な行事「マラソン大会」「子どもみこし」等を企画し、積極的に活動し徐々に活気を取り戻しつつある。

5 今後の課題

- ・公民館活動の施設が破損し、行事や学習活動がままならない状態、「いつ」「どこで」「何を」「どうするか」で悩んでいる。
- ・職員も災害復旧、復興の仕事に追われ、公民館本来の活動に復帰するにはまだまだ時間がかかりそうである。「この町はきみが住む町創る町」のスローガンのように、住民のニーズを大切に一步一步仕事を進めていきたい。



車椅子は心で押しまじょう

車椅子レクダンス

矢車草の会

私達の会の目的は、車椅子の障害者や高齢者が健常者と同じフロアで、安全に楽しくダンスが踊れるような社会環境を実現するために、全国にボランティア支部を設立し、各福祉施設を訪問してあります。

特に介助が必要な高齢者の方、重度の障害者の方、日常生活で行動やレクリエーションの範囲が著しく制約されている方々と一緒に、楽しいひと時を過ごすことを目的と



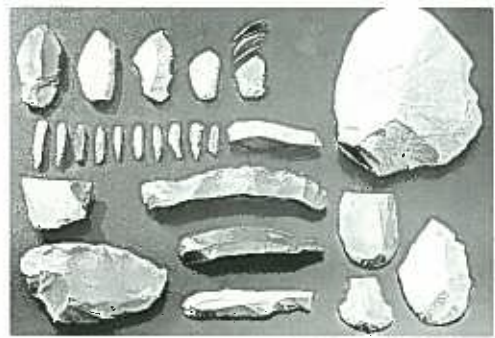
しています。活動の現場では、スキンシップ・コミュニケーションをより大切に「手と手のふれあい」「心と心のふれあい」を大事にと考えています。全国290支部、養成会員は5,800人で楽しい時間を過ごしております。

特定非営利活動法人(NPO) 十日町支部 岩田あやみ記



和気あいあいの楽しいサークル 歴史民俗同好会

サークル会員三十名余で町の歴史、史跡、伝承等について見学したり、その道の造詣の深い講師を招いての研修会や、会員が興味関心のある事柄について発表し合う和気あいの楽しいサークルである。



出土石器 (左上5点が荒屋型彫刻刀形石器)

川口町は信濃川と魚野川の合流点に位置する中山間地であるが、旧石器時代後期の遺跡(約二万三千年前)国の史跡に指定された「荒屋遺跡(写真参照)や、江戸時代参勤交代の本陣として栄えた「中林家」(中越地震で倒壊)の資料等が町の文化会館に陳列されています。

地震に当たり、激励お見舞いをいただき本当に有り難うございました。お礼申し上げます。各サークル活動も序々に活動を開始し始めています。

川口町公民館長 星元記

平成17年4月1日に5町村(中之島町・越路町・三島町・小国町・山古志村)を迎えて新長岡市が誕生いたしました。

このたび、旧越路町からは、長岡市中央公民館に渡辺茂さんが配属されて、現在活躍していただいております。

そこで、今回は、彼の一端を紹介いたします。彼は、以前から公民館事業に携わると同時に、約7年間越路町史編さんの仕事を手がけておりました。



長岡市中央公民館活動係

主査 渡辺 茂さん

戸惑も多々あることでしょう。しかし、それを顔に出さず、やや小太りの頑丈な体で獅子奮闘中。その前向きな姿は立派です。

これはちよっぴり内緒? ですが、こんな一面をお持ちです。

- ① 草花あそびや草笛を吹いて音色を楽しんだり、まさに「自然派」
② 凧づくり・凧あげが大好き。サークルを作ったの熱中ぶり。

こんな彼です。これからもよろしくお願ひします。(長岡市中央公民館活動係長 赤川孝昭 記)

素顔拝見

今年4月に農政課から社会教育課公民館に異動した。農政課は通算11年のベテラン職員であった。

初めて公民館事業を担当し、また新潟市との合併の仕事もあり休日出勤の日々である。

“休暇取っていいぞ”

公民館に来る人は、お客であり仲間である。積極的に対応する姿は、仲間づくりの第一歩。頼もしい。



巻町公民館

主査 大倉 崇さん

前任者とは、時どき「飲ミネーション」ストレスを発散しているようだ。

さて、今一度写真を見て下さい、身長180cm、体重57kgの大倉さんです。タレント「アンガールズ山根」にそっくりです。「巻公民館のアンガールズ大倉」と呼んで下さい。

“頑張れ大倉 人気ものになれ”

(巻町社会教育課 巻町公民館長 込山 武 記)

Network

第28回 全国公民館研究集会 inひょうご

- 開催要項**
1. 趣旨 (省略)
 2. テーマ
『新世紀、こころ豊かなまち・人づくり』
～「元気」と「安心」・「生きる力」をはくくむ公民館の創造～
 3. 会期
平成17年10月13日(金)～10月14日(金)
 4. 会場
第1日 分科会 兵庫県立文化体育館内など10会場
第2日 全体会 兵庫県立文化体育館
 5. 主催
社団法人 全国公民館連合会、近畿公民館連絡協議会、兵庫県公民館連合会
 6. 後援
文部科学省、兵庫県、兵庫県教育委員会、
近畿地区各府県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会
 7. 協賛
全国公民館振興市町村長連盟、兵庫県市長会、兵庫県町村会、
兵庫県市町村教育委員会連合会、兵庫県社会教育委員協議会、
兵庫県都市教育長協議会、兵庫県町村教育長会
 8. 参加者
公民館関係者、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、
教育委員会事務局職員、社会教育関係団体、学校教育関係者、
生涯学習・社会教育関係者、公民館利用者、一般市民、等
 9. 日程
第1日 平成17年10月13日(金) 分科会 (各分科会場)
【受付9:30～10:20】
10:20～10:40 開会、オリエンテーション、日程説明
10:40～12:00 分科会事例発表、質疑
12:00～13:00 昼食、休憩
13:00～16:00 討議、助言、まとめ
16:00～16:10 閉会 (各分科会ごと)
第2日 平成17年10月14日(金) 全体会 (兵庫県立文化体育館)
【受付9:00～9:20】
9:25～9:50 第53回近畿公民館大会
(第18回兵庫県公民館大会)
第28回全国公民館研究集会全体会
引継行事含む
9:55～10:25 文部科学省施策説明
10:30～11:00 記念講演
演題 「これからの社会教育(家庭)に求められるもの」
講師 文化庁長官 河合雄雄
12:05 閉会
 10. 分科会 (紙面の都合で、詳細は省略)
 11. 参加費と参加申込み
①参加費 (「研究集会資料」・「集会記録集」費用を含む) は、一人4,000円とします。
②参加希望者は、別記様式による「参加申込書」に参加費を添えて7月11日(明)までに、所属の都道府県公民館連合会(連絡協議会)事務局にお申込みください。
③各都道府県公民館連合会(連絡協議会)事務局は「参加申込連絡表」(別送送付)にとりまとめ、7月29日(金)までに、上記へ申込みください。
④申込み期限後の参加は原則として認められません。
⑤参加申込み取消・変更は、8月1日(明)までとし、それ以後の取消については、参加費を返還いたしません。なお、取消の場合は、研究集会終了後「研究集会資料」を送付いたします。
⑥8月下旬に、「領収書」・「参加証(資料引換券)」を各都道府県公民館連合会(連絡協議会)事務局に送付しますので、各事務局は、参加申込者に配布いたします。
⑦研究集会の受付は、第1日目の分科会場で、行い、「参加証」と引替えに「研究集会資料」を配布いたします。

恵贈資料紹介

新潟大学

誰にでもできること
 小さな芽を育てていること
 本書のとびらで、カットとともに
 語られている

踏み出しの一步では、①自分の目
 で見る、②自分の耳で聞く、③自分の
 の心で感じるとし、とても勇気のい
 ることだ、と記されている。
 できること探しでは、その「こころ

本書のねらいは、昨年県央地域を
 襲った「7・13水害」に対して、新
 潟大学がどう復興協力したか、その
 活動記録(二部)として刊行した、
 とある。

本書の構成は、第1章踏み出しの
 一步、第2章できること探し、第3
 章つながりづくり、から成り立って



③何気な
 て、想いと
 声を聞いて
 てみる、②
 を、①とこ
 かく動い
 を、①とこ

い一言を大切にすることだ。
 つながりづくりでは、①自分が
 「気づかされる」こと、②気持ちの伝
 わる「手作り」ツール、③その後の
 つながりづくりである。
 真夏の灼熱の太陽の下、泥にまみれ、
 汗だくなりながら奮闘努力する姿
 が浮かび上がる、感動の記録である。
 「まなび屋」が三条でも「子ども
 遊ばせ隊」を企画、実践したことも
 驚きであった。
 登載された写真の顔が、どれも輝
 いているのが印象に残った。

第46回 関ヶ原大会第14分科会
 「市町村合併と公民館」
 本県公連では3回連続この分科
 会で発表いたします。今回は、
 十日町圏域についての事例発表
 予定です。現在着々準備中です。
 (鈴木 記)

県公連の財源確保は緊急の課
 題ですが、「自主財源確立のた
 めの調査検討委員会」の初会合
 を開きたく、日程調整中です。

Event information

平成17年7月の催物ご案内

夏の特別展 探ろう！植物のふしぎ

開催期間：7月23日(土)～8月31日(水)

- 植物はむかし、どんな形だったの？
多くの植物とむかしの植物に違いがあるの？化石や標本を使っ
て見比べてみよう。
- 虫になつて、花の模倣にはいる「さきまわり」
花びらや蜜に呼び寄せられた昆虫の気分になってみませんか？
昆虫から見た花の大きさを体験できる巨大な花の模倣に入っ
てみよう。昆虫の体に花粉をつけるために、花はどんなしかけをもっ
ているのでしょうか？
- 飛ぶタネのいろいろ
風で飛ぶタネ、動物に運ばれるタネ、はじけるタネなど約130
種類のタネの標本を展示します。
タネの吹き上げ装置を使って、本物のタネを飛ばしてみよう。
タネの模倣を作る工作や、野菜やくだものタネクイズ・くっ
つタネを使ったゲームなどの体験コーナーもいろいろあるよ。
- 実験ショー「タネの旅立ち」※1日限り実施
空を飛ぶタネがあるって知ってる？その他にも、人や動物にくっ
ついて遠くまで運ばれていくタネもあるんだよ、それと、みんな
が知っている「ドングリ」の「ドングリ」が芽を出すまでにど
んな危険をしているのか知ることがありますか？
「タネの旅立ち」では、そんなふしぎなタネたちの模倣をつかっ
て楽しく実験をします。

料金

項目	小・中・中学生	大人
入館料	100円	550円
入館料+ワークショップ	200円	750円

7月の休館日は、7月4日(月)、11日(月)、19日(火)、20日(水)、25日(月)です。
 ※本館は平日9時～17時、休日は10時～16時の受付です。観覧料は別途必要です。観覧料は当日の受付で払ってください。

【工作体験】

●化石ブローチ作り●
 日 時：8月25日(木)
 13:30～16:30
 会 場：科学室
 参加費：入館料のほかに500円
 電話等による申込先着30名

【観察体験】

●星空ウォッチング●
 日 時：7月27日(水)・8月3
 日(水)・11日(水)・19
 日(金)
 19:00～21:00
 会 場：プラネタリウムドーム
 ほか
 参加費：200円

【化学実験】

●生活に必要な化学製品●
 日 時：7月27日(水)・8月10
 日(水)・24日(水)
 各回 13:30～14:30
 会 場：サイエンスラボラトリー
 又は科学室
 参加費：入館料のみ
 電話等による申込各回先着20名
 ※日によってテーマがことなり
 ます。



夏休みに楽しい工作や実験がいっぱいあるよ！
 みんなでどんどん参加しよう。

☆☆☆☆☆☆ お問い合わせ先 ☆☆☆☆☆☆
 電話 (025)283-3331 FAX (025)283-3336
 新潟県立自然科学館